



ウポポイ  
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK  
民族共生象徴空間

令和3年3月22日

## 天塩川シーニックバイウェイの取組を表彰します！



～ベスト・シーニックバイウェイズ・プロジェクト2019～

令和2年11月13日に開催された「第17回シーニックバイウェイ北海道推進協議会」において、天塩川シーニックバイウェイと宗谷シーニックバイウェイが共同で取り組んだ「きた北海道エコ・モビリティの推進 R3プロモーション動画の作成」が「魅力ある観光空間づくり部門賞」を受賞しました。この度、表彰式を以下のとおり開催しますのでお知らせします。

「ベスト・シーニックバイウェイズ・プロジェクト」はシーニックバイウェイ北海道の活動で、他の模範となり将来への発展性が高く評価出来る活動を選出、表彰する取組として平成20年度から実施しています。（別紙参照）

### 記

日時 令和3年3月25日（木）16：00～（30分程度）  
場所 旭川開発建設部 2階 第1会議室  
内容 ベスト・シーニックバイウェイズ・プロジェクト2019 表彰式  
■魅力ある観光空間づくり部門賞  
・プロジェクト名  
きた北海道エコ・モビリティの推進 R3プロモーション動画の作成  
・活動団体  
天塩川シーニックバイウェイ・宗谷シーニックバイウェイ  
※宗谷シーニックバイウェイへの表彰は稚内開発建設部にて実施

表彰式の取材を希望される方は、3月24日（水）までにメール又はFAXで事前登録をお願いいたします。事前登録が無い方は入場を制限させていただく場合がございます。

また、新型コロナウイルス感染症対策としてマスク着用、手指消毒等にご協力をお願いいたします。

#### 【取材の事前登録】

E-mail : hkd-as-info@gxb.mlit.go.jp

FAX : 0166-32-1406

登録内容（件名：BSP表彰式、社名、役職、氏名（ふりがな）、連絡先（電話とE-mail））

※表彰式開始時刻の5分前（15：55）までに会場へお越しください。

#### ●シーニックバイウェイ北海道とは

みちをきっかけに地域と行政等が連携し、『美しい景観づくり』『活力ある地域づくり』『魅力ある観光空間づくり』を目的に地域ごとに特色のある様々な活動が進められ、全道で指定13ルート、候補3ルートの約440の団体が活動しています。詳細は、シーニックバイウェイ北海道推進協議会ホームページを参照ください。

[https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/kn/dou\\_kei/ud49g700000n0ut.html](https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/kn/dou_kei/ud49g700000n0ut.html)

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 旭川開発建設部

道路計画課 課長 長内 正宏 (0166-32-4285)

道路計画課 道路調査官 大西 功基 (0166-32-4285)

旭川開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/as/>

旭川開発建設部公式 Twitter アカウント @mlit\_hkd\_as





HOKKAIDO®

# ベスト・シーニックバイウェイ

## プロジェクト2019 受賞プロジェクト一覧

受賞部門	プロジェクト名	ルート名
 <b>最優秀賞</b>	函館新道「花いっぱい活動」及び「シーニックdeナイト」	函館・大沼・噴火湾ルート
 部門賞 (美しい景観づくり賞)	函館新道「花いっぱい活動」及び「シーニックdeナイト」	函館・大沼・噴火湾ルート
 部門賞 (活力ある地域づくり賞)	「みらいの森」育樹プロジェクト	支笏洞爺ニセコルート
 部門賞 (魅力ある観光空間づくり賞)	きた北海道エコ・モビリティの推進R3プロモーション動画の作成	天塩川シーニックバイウェイ/ 宗谷シーニックバイウェイ
 活動団体賞	地域住民と道路管理者の地域協働による板割拡幅記念植樹区間景観保全活動	札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート

# (参考)活動団体エントリーシート

活動名称

きた北海道エコ・モビリティの推進 R3プロモーション動画の作成

エントリー部門

魅力ある観光空間づくり

ルート名称

天塩川シーニックバイウェイ × 宗谷シーニックバイウェイ

部門賞

## ①活動概要（目的・目標、具体的な取り組み等）

- 目的・目標／体験型観光と個人旅行のニーズを含め、一次交通の衰退や二次交通の脆弱さを逆にとり、地域にとってプラスとして、地域資源に触れ・遊び・移動そのものが観光となる新しい旅のスタイル『きた北海道エコ・モビリティ』を広域で連携・推進  
⇒スロウな旅が地域への滞在時間の長期化・経済効果・周遊性向上に繋がる

### ●活動内容／R3プロモーション動画の作成

道（Road=自転車・歩く）と川（River=カヌー）と鉄道（Rail=JR宗谷本線）が並行する地域性を活かして3つのRを繋ぎ、美しい景観を見て＆自然に触れて遊び＆美味しいものを味わいながら日本のてっぺんを目指す旅を推奨するため、過年度までにはアクティビティと食や観光を繋げるコース設定、コンテンツの発掘・検討を進め、それらを組合せた「R3モニターツアー」を昨年度実施した。ツアー参加者からの満足度や今後への期待も多く、意見等も参考に、R3プロモーション用のイメージ動画を作成した。

★ターゲット：20～30代の女性★  
⇒食と観光+遊べるプチアクティブな女子旅

- 活動期間／2019年9月～2020年3月  
＜2017年度から「きた北海道エコ・モビリティ」の取組みを継続実施＞
- 活動範囲／きた北海道エリア（天塩川シーニックバイウェイ、宗谷シーニックバイウェイ、その他関係する近隣市町村）



▲撮影の様子

▼投稿されたInstagramでは、主に動画での公開。



▼作成した動画画面。旭川空港へ到着してからバスで移動、手荷物を預け、自転車やカヌーで移動しながら、御当地食を堪能しながら宗谷岬へ。映像は約5分。



## ②活動の体制

実施主体 **きた北海道エコ・モビリティ**  
**天塩川シーニックバイウェイ** 【事務局】  
**宗谷シーニックバイウェイ**  
 シーニックバイウェイ支援センター

<協力・連携>

常に密に情報共有

北海道エコ・モビリティ研究会／北海道のサイクルツーリズム推進に向けた検討委員会／旭川開発建設部/稚内開発建設部/JR北海道旭川支社/その他(団体/自治体/企業等)

## ③PRポイント

### 【総意工夫した点や苦労した点】

- ・紅葉シーズンの美しい自然風景の時期を狙った。天候にも恵まれ、よい撮影ができた。
- ・実際のJR便に合わせているため、撮影タイミングなどに苦労した。
- ・Instagramのフォロワー数が多いモデル（2名）を起用し、それぞれのInstagramで撮影の様子や地域の情報をアップしてもらい、PR効果を促した。

### 【活動による効果】

- ・Instagramに、movieや写真画像、地名や特産品等を#でタグ付による投稿が10回以上があった。インスタグラムなどを中心に述べ約1000件ものコメントやいいね数があり、広く周知に繋がった。

### 【今後の展開】

- ・動画を有効的に活用し、広く周知するための手法を検討したい。(例)道央圏・首都圏等へのPR、外国語版動画の作成)
- ・JR宗谷本線の存続等も踏まえて、今後も沿線自治体と協議しながら検討していきたい。
- ・北海道・道北の魅力でもある“雪”に触れるWinterシーズンのPRにも、力を入れていきたい。
- ・新型コロナウイルスの影響による旅行等の自粛などを踏まえ、PR手法等を検討したい。

# (参考) ベスト・シーニックバイウェイ・プロジェクト



平成20年度から、シーニックバイウェイ北海道の推進に向け、他の模範となる活動で、将来への発展性が高く評価できる取組を選出・表彰する取組。

## ▼2018

「どうなん道の駅連携事業」  
(どうなん・追分シーニックバイウェイルート)



## ▼2017

「ビューポイントパークの景観改善（電線移設）」  
(支笏洞爺ニセコルート)



## ▼2016

「いにしえ街道の景観を活かした街づくり」  
(どうなん・追分シーニックバイウェイルート)



## ▼2015

「そらの森の植樹活動」  
(釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ)



## ▼2014

「ライフコンシェルジュ（ご当地風土アドバイザー）  
育成事業」  
(トカプチ雄大空間)



## ▼2013

「タカラモノプロジェクト」  
(支笏洞爺ニセコルート)



# (参考) ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト

## ▼各賞決定までの流れ

募集開始



各ルートから活動の応募



### ■ 活動団体賞

各ルートによる投票

- ※対象：指定及び候補ルート
- ※自ルート以外に、持ち点10点を自由配点
- ※最多得点を得たプロジェクトを活動団体賞として選出



### ■ 部門賞、最優秀賞

ルート審査委員会にて審査

- ※対象：指定ルート
- ※ルート審査委員が、持ち点10点を自由配点
- ※最多得点を得たプロジェクトを部門賞候補として選出
- ※選出された部門賞候補から最優秀賞を選出



推進協議会にて活動団体賞、部門賞及び最優秀賞を決定

# (参考) ベスト・シーニックバイウェイズ・プロジェクト

## ベスト・シーニックバイウェイズ・プロジェクト2019のエントリー状況等

### <表彰>

●活動団体賞 1 件（指定・候補ルートを対象） 【エントリー数 16 件】

●部門賞 3 件（指定ルートを対象）

#### <エントリー部門>

- ①美しい景観づくり賞 【エントリー数 4件】
- ②活力ある地域づくり賞 【エントリー数 4件】
- ③魅力ある観光空間づくり賞 【エントリー数 5件】

●最優秀賞「ベスト・シーニックバイウェイズ・プロジェクト2019」1 件（指定ルートを対象）  
部門賞の中から 1 件選出

### <評価の視点>

地域の資源を発見・活用し、有形・無形の「新しい価値」を生み出しているか否かに評価の軸を置くと共に、以下の点に留意し、プロジェクトの評価を行う。

－部門賞及び大賞－

- 持続性（取組の継続性の程度を評価）
- 浸透性（地域内への広がり程度の程度を評価）
- 拡張性（モデルケースとしての地域外へ展開の程度を評価）
- 連携性（地域同士や他団体との連携の程度を評価）
- 先進性（新しいものに取組んでいく姿勢の程度を評価）
- 効果性（定量的・定性的な効果の程度を評価）
- 人材育成